



こんにちはは佐高です



佐呂間高校HPでカラー版をご覧ください！

URL:<http://www.saroma.hokkaido-c.ed.jp>

初春 ご挨拶

北海道佐呂間高等学校長 渡 邊 周 一

初春にあたり皆様にご挨拶申し上げます。
日頃から本校の教育活動に対し、深いご理解と温かいご支援を賜り、誠にありがとうございます。また、部局活動、資格取得、通学バス、パーマとの交流等における手厚い援助や学校祭等でのご協力などをいただき、重ねて感謝申し上げます。

さて、高校教育を取り巻く環境は決して穏やかではありません。先般、大学入試における英語民間試験活用のための「大学入試英語成績提供システム」の導入見送り、また大学入試センター試験にかわる「大学入学共通テストにおける記述式問題」の導入見送りを文部科学省が発表しました。これらは検討会議が設置され検討が進められることとなりますが、学校としてはその動向を十分注視して対処しなければなりません。

一方、明治以来の大改革といわれる教育改革の柱の一つである高校教育改革は、着々と進行しています。高等学校学習指導要領が改訂され、今年度から一部先行実施、令和4年度から年次進行で実施となり、「何を学ぶか」という

視点では本校の教育課程も見直しが進んでいるところです。「どのように学ぶか」という視点では、主体的・対話的で深い学びの実現とそのための授業改善などを進めています。「何ができるようになるか」という視点では、本校で育成を目指す資質・能力を次のとおり整理し、目指しています。

- 1 社会で生きる力…総合的な学力、課題解決力、豊かな人間性、健やかな身体など
- 2 自己を実現する力…自己理解、他への敬意、人格、自律、粘り強さ、感性など
- 3 よりよい社会を創造する力…多様性、判断力、社会性、国際的視野、創造力など

本校で学んだことが「生きる力」となり、これからの社会がどのように変化し、予測困難な時代になっても、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、持続可能な社会の創り手となることができるようにするという思いを込め、日々の教育活動に精励して参ります。皆様には引き続き本校へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

第55回高体連北見支部新人バドミントン大会

【女子ダブルス】

- 石川(2A)・佐野(2A) **第7位**
- 須藤(1A)・前原(1A) **第8位**

東北道大会進出!

男子は団体戦3位



東北道大会は2月1日(土)～2日(日)北見市で行われました。全道レベルの大会に初出場した2組に感想を聞きました。
2年生、石川・佐野ペアは、「自分たちの力が出せないまま終わってしまった。」課題が見つかったので、練習して強くなりたい。」1年生、須藤・前原ペアは「緊張した。いい経験になった。」と気持ちは次の目標に向かっていくようでした。 ※大会結果は本校ホームページをご覧ください。

姉妹校(パーマ高校) 留学生紹介!

令和2年1月17日から3月31日まで(約2ヶ月間)、本校2学年に在籍することになりました。留学生をご紹介します。昨年6月、短期留学でも来町した生徒です。身長が190cm以上あるので、見た目は威圧感がありますが、ユーモアがあって優しい性格です。日本語も話すので、見かけたらぜひ声をかけてみてください。



お久しぶりです！
私の名前はニック・ヤングです。私は17歳。パーマ高校の4年生です。趣味は音楽を聴くこと、テレビゲームをすること、バスケットボールをすることです。昨年夏にも佐呂間町に来ました。
よろしくお願ひします。

遠隔システムを
活用した

地域連携特例校間「合同授業」 特例校ならではの取組

豊富高校(宗谷管内)・清里高校(同管内)と連携



音楽: トーンチャイム、ピアノの発表

家庭: 特産品などの紹介

参加した生徒からは、「他校との合同授業は新鮮でした。」「音楽は遠隔だと、音が鮮明ではない。」などの正直な感想も聞かれました。

教育局主催 教職教養セミナー

「教えて!先生の仕事」



現職の若手教員との懇談や演習等とおして、教員の仕事について理解を深めました。

先生方の普段わからない仕事の日を知ることができたり、生徒たちとの向き合い方やいつも心掛けていることがわかりとても勉強になりました。今後の進路に向けて良いお話が聞かれました。

2A 鎌田 彩来

今回のセミナーで、高校生の時からできることや気をつけることなどを教えていただいたのが、とても勉強になりました。他にも、やりがいや大変さについても深く知ることができました。今後の進路の参考にしたいと思います。

2A 市村 優衣

合格体験記

今月号から3年生による進路体験記を掲載します。後輩等へのメッセージとなっていますので、ご覧ください。

札幌大谷大学芸術学部音楽科合格 石川 陽捺

高橋土建株式会社内定

鈴木 洸介

私は、高校入学当初から、卒業後は音楽の道に進みたいと考えていました。音楽療法士になるという進路と迷った時期もありましたが、私が本当にやりたいことは、自分の演奏で社会貢献をすることだと気づき、この進路を決めました。

私は、高橋土建株式会社に就職が決まりました。最初は自分のやりたい職業がなかなか決まらず悩んでいましたが、担任の菊池先生や就職担当の奥山先生と相談したり、アドバイスをいただいたおかげで、自分の進路を決めることができました。進路活動はとても大変でした。特に面接練習では、自分の考えを上手に相手に伝えることができず、毎日苦労しました。辛くて逃げたいとも思いましたが、そんな時、励ましてくれたのは、同じ就職活動をしていた仲間でした。「辛いけど一緒に内定をもらうために頑張ろう!」などの何気ない言葉でした。おかげで、面接でも自分の考えを伝えることができ、内定もいただくことができました。

受験対策は、フルートの練習と楽典の勉強をしました。フルートは、課題曲2曲と自由曲1曲を主に練習しました。月に1度レッスンに通いながら、先生のアドバイスを自分の演奏に結びつけ、より良い演奏を求めて研究しました。楽典は、問題集や大学の過去問を解き、音楽についての教養を深めました。

先生方にはお忙しいなか、私のために時間を割いていただきありがとうございました。後輩の皆さんも自分の進路で悩んだときは、一人で悩まず先生や友達に相談してください。答えが見つかると思います。

後輩の皆さん、合格することはゴールではなく、スタートラインに立つことだと思います。進路のことでたくさん悩むと思いますが、夢に向かって頑張ってください。

最後になりますが、私の進路活動に関わってくれた皆さん、本当にありがとうございました。

◆卒業生情報◆

大谷つぐみさん (平成30年3月本校卒業、現在:北海道武蔵女子短期大学 英文学科 2年次在籍)

北海道大学へ編入学!

(※ 大学編入学は、短大卒業見込み等の学生が、編入先の試験に合格すれば可能となる制度です。)

大谷さんは4月から、北海道大学教育学部3年次への編入学が決定したそうです。短大在学中のカナダへの留学(4ヶ月間)などがきっかけで、「もっと勉強がしたい」と思ったのが編入を志望した理由だそうです。もともと英語を学ぶことが好きだったそうですが、佐呂間高校時代のパーマ高校への短期留学や、受験に向けて取り組んだ英語学習などの積み重ねが、現在の大学での勉強にとっても役に立っているそうです。将来は行政に関わる仕事又は教育関係の職業に就くことを目標にしているとのこと。

佐高生の励みとなる大変貴重なお話を聞くことができました。今後の活躍がとても楽しみです。取材にあたり、学校通信への掲載に大変恐縮されていましたが、ご協力に感謝します。ありがとうございました。

2月の行事予定

1 土	三校リーダー研修会(本校)、東北北海道バドミントン大会(北見)	16 日	
2 日	サロマフットサル交流大会	17 月	
3 月	防災点検日、学校通信発行	18 火	
4 火	卒業考査①、就職ガイダンス(2年)	19 水	(出)、学年末考査①(1・2年)
5 水	卒業考査②、(出)	20 木	学年末考査②
6 木	卒業考査③	21 金	学年末考査③
7 金	家庭学習期間(3年:~27日)	22 土	
8 土	各種模擬試験	23 日	天皇誕生日
9 日	ドラフェス(放送局作品発表会)13:00~ 会場:佐呂間高校体育館	24 月	振替休日
10 月		25 火	
11 火	建国記念の日、テニスインドアシングルス大会(北見)	26 水	(出)、生徒会常任委員会
12 水	(出)、考査準備期間(~18日、1・2年)	27 木	卒業式会場設営
13 木	交通安全の日	28 金	卒業式予行、同窓会入会式(3年)
14 金	佐呂間町芸術文化表彰式15:00	29 土	
15 土			

ドラフェス

入場無料です!
ご来場お待ちしております。

※(出)は北見柏陽高校の先生の出張授業日